

8. 単元計画

	学習内容と活動 ◆動きの例	教師の指導・支援
はじめに	①学習の進め方を知る。 ・学習のねらいと道すじを理解する	・学習の進め方を説明する。
学習のはじめの運動	①毎時間の学習のはじめの運動を行う。 ◆かえる倒立 ◆かえるの足打ち ◆だるま回り ◆ゆりかご～ボールキャッチ など	・動きのポイントを伝える。
	○ 基本技をやってみよう。	
楽しみ①（つかむ・やってみる）	<p>①基本技を知り、自分のめあてを持つ。 回転技や倒立技を組み合わせて練習しよう</p> <p>②教え合いながら練習をする。 ・基本技をより大きく、安定した動きになるようにする。回れるようになったら、ちがう基本技にも挑戦する。</p> <p>(回転技) ◆大きな前転 ◆安定した前転 ◆開脚前転 ◆安定した後転 ◆開脚後転</p> <p>(倒立技) ◆安定した壁倒立 ◆補助倒立 ◆頭倒立 ◆ブリッジ ◆安定した腕立て横跳び越し ◆側方倒立回転</p> <p>③学習の振り返りをする。</p>	<p>○楽しみ①での学習の進め方や、マットの技を準教科書や学習カードを用いて伝える。</p> <p>めあて別グループで練習・発表① →めあて別グループで練習・発表②</p> <p>◆練習方法 ・基本技を単技として練習 ・基本技を連続したり、違う技と組み合わせで練習</p> <p>◆発表 ・基本技の名前と気を付けるところを発表して演技をし、友だちに評価してもらう。 ・基本技を「大きくする」という意味やポイントを伝える。 ・学習カードに記入する。</p>
	○ 発展技に挑戦しよう。	
楽しみ②（広げる・学び合う）	<p>①グループ演技を練習しながら、いろいろな工夫をして、技を組み合わせたり、演技の場所を考える。</p> <p>②教え合いながら練習をする。 ・工夫した場で発展技にも挑戦する。</p> <p>③学習の振り返りをする。</p>	<p>・グループ演技では、いろいろな技の工夫や組み合わせができるように伝える。</p> <p>・グループで練習・発表をすることで、他グループの工夫などを見合う。</p>
おわりに	<p>①まとめをする。 ・学習を振り返り、楽しかったことや感たことを発表する。</p>	<p>・単元全体を振り返り、自分が頑張ったり楽しかったりしたことや、友だちのよかったこと等をまとめるように助言する。</p>